

エスペラントは心の国境を消すことばです

Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo

Heroldo de HEL

N-ro 167

Septembro 2016

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- ・表紙、Enhavo/目次 P. 1
- ・サハリンでのエスペラント普及のための旅/ P. 2
北海道エスペラント連盟員 横山裕之
- ・Resumo de <La gazeto de Hokkajdaj indiĝenoj P. 3
"AinuTimes" kaj Esperanto>
- ・Resumo de la prelego de s-ro Hoŝida(En la 15-a P. 4
de aŭgusto en Juĵno-Saĥalinsk, Saĥaleno)
- ・Esperanto, la lingvo por amikeco/友情のことば、 P. 5
エスペラント/星田淳/HOŜIDA Acuŝi
- ・L・PLAZA FESTO 2016 エルプラまつり P.10
2016 報告/後藤純子
- ・星田さんへの『人民の敵』のインタビュー記事について(5) P.11
Intervjuo de HEL-eksprezidanto HOŜIDA Acuŝi en la
gazeto "Ĵinmin no teki"(5)/横山裕之
- ・Japana gruo/鶴 P.14
- ・Danke ricevitaj (星田淳扱い読みたい方はご連絡ください) P.16
- ・Protokolo de la 5-a Komitata Kunsido de HEL/Kasjaro 2016 P.18
2016年度 第5回北海道エスペラント連盟委員会 議事録
- ・【編集後記/Redaktanto parolas P.20

第80回北海道エスペラント大会の第1日午後の連盟総会終了後同じ会場
(かでの2・7の320会議室)で サハリン訪問の報告会を行います。
お聞きください。

サハリンでのエスペラント普及のための旅

北海道エスペラント連盟員 横山裕之

(この報告文は、Revuo Orienta 10月号にエスペラントで掲載予定となっています。)

8月10日から17日まで、エスペラント普及活動のため、ロシア、サハリン島ユジノサハリンスク市に行ってきました。

<http://www.hokkaido-esperanto-union.jp/~esperanto-sahalin-2008-08-10-17.html>

11日から14日まで、講演会と講習会のチラシを「エータ パジャルスタ」—これどうぞ、と言って、街頭で配ると中身をじっと見て丁寧に読んでくれたり、「スパーバ」—ありがとう、と言ってくれた人も結構いました。サハリンの人は親切で心優しい感じがしました。日本から来た14名の仲間から街頭でピラを気持ちよく受け取ってくれたので、うれしかったです。街頭で出会った8割くらいはそんな感じの人でした。北海道ではこのようなことは経験したことがありません。400枚くらいピラを配りました。

8月15日の私たちの会合には、20名のロシア人の参加がありました。20名も来てくれたので、びっくりしました。その時まで、このようなことは経験したことがありません。ロシアエスペランティスト連合のアレクサンドロさんは、「20名はとてもよい結果です。ユジノサハリンスクより大きい私の都市でさえ、いつもそれより少ない人数しか来ません、たとえば、エスペラントの講習会では10~12名です。ご成功おめでとうございます。」と言いました。

星田さんの講演の概要については以下のページをご覧ください。最後に星田さんがエスペラントで概要を述べました。講習では、西端さんがキリル文字を使ったアルファベットの読み方と簡単なエスペラント文の紹介をしました。ついでに何人かにアイヌタイムズに関するピラを渡しました。

<http://www.hokkaido-esperanto-union.jp/~esperanto-sahalin-2008-08-15.html>

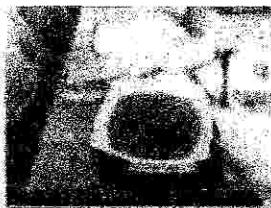
(Resumo de la prelego de s-ro Hošida - Esperanta versio)

(Anonco pri la gazeto de Hokkajdo indigheno "Ainutimes" kaj Esperanto)

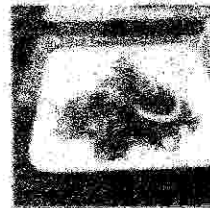
また、8月12日に、地元の新聞社に行って取材をしてもらいました。その新聞社のネット記事に載りました。

<http://www.hokkaido-esperanto-union.jp/~esperanto-sahalin-2008-08-12.html>

なかなか充実した日々でした。ロシア料理も載せましたのでご覧ください。



ボルシチ (borsjt, borščon [紅汁])



セリョートカ (seryohtok, seryohtokaj)

(Resumo)

14 Esperantistoj, ĉefe en Hokkajdo, vizitis la urbon Juĝno-Sahalinsk en la insulo Sahaleno, por prezenti publikan paroladon kaj elementan kurson pri Esperanto. Koran dankon pro via subteno kaj helpo por la efektivigo. (YOKOYAMA Hiroyuki)

また、サハリンでアイヌタイムズを購入してもらうために、何人かに配布した<<北海道の先住民族の雑誌「アイヌタイムズ」とエスペラント(ロシア語文)>>をエスペラントで要約したので、次のとおり掲載します。

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/sahxaleno/sahxaleno.htm>

Resumo de <La gazeto de Hokkajdaj indiĝenoj "AinuTimes" kaj Esperanto>

En la gubernio Hokkajdo de Japanio troviĝas la indiĝenoj Aino kiel la indiĝenoj Nivĥo, kiu klopodas heredi siajn lingvon kaj kulturon, en la gubernio Saĥaleno.

Mi helpas publikigon de ain-lingva gazeto krom Esperanto.

En 1996 la ainaj volontuloj fondis la klubon 'Ainugo-Pen-Kurabu' kaj ekde 1997 ĝi publikigas regule la gazeton 'AinuTimes' faritan nur ain-lingve. Mi aliĝis al la klubo en 1999.

La klubo publikigas la gazeton sendepende por eviti la registaran troan intervenon. Tial ĝi estas administrata nur per la membrokotizo kaj la abonpago. La gazeto estas publikigata trifoje aŭ kvarfoje ĉiujare, kaj pli ol 60 n-roj estas eldonitaj ĝis nun.

La kluba regularo tekstas, "Protekti liberecon pri parolo, esprimo kaj eldono, kaj disvastigi esprimon kaj publikigon en la aina lingvo japanen kaj tut-monden". Kaj ni esprimas diversajn aferojn de moderna vivo en la eldonaĵo. S-ro KAJANO Ŝiroo, unu el ainaj fondintoj, diris jene:

"En la tuta mondo homoj vivas kun diversaj lingvoj, gentoj, religioj kaj nacioj. Mi deziras, ke oni ĝenerale garantiu al ĉiu gento la rajtojn pri uzado de ĉiu lingvo sen dependo de politiko de la registaro, al kiu la gento apartenas."

En n-ro 11 troviĝas mia ain-lingva artikolo pri Esperanto.

• • • "Esuperanto" itak anak usa oka mosir un utar, ukoyki somo ki no ukoysoytak kunine, 1887 pa ta "Poorando" mosir or un "Zamenhohu" sekor re an kur asinno kar itak ne wa usa oka mosir un utar uturano eywanke p ne ruwe ne. • • •

"En la jaro 1887, en la lando Pollando, persono, kies nomo estas "Zamenhof", nove faris la lingvon Esperanton, por ke oni interparoladu sen konflikti, kaj la lingvo Esperanto estas lingvo, kiun personoj en tuta mondo uzas." (En septembro de 1999, eldono de 'Ainugo-Pen-Kurabu')

La monda Esperanta movado adoptas la Manifeston de Prago kaj klarigas la gravecon de 'lingvaj rajtoj' kaj 'lingva diverseco'. Mi ankaŭ tradukis la Manifeston en ainan lingvon.

Ni, popoloj de Saĥaleno kaj Hokkajdo, estu amikoj kiuj transiras lingvajn barojn kaj respektas reciprokajn lingvojn.

(YOKOYAMA Hiroyuki)

サハリンでの星田さんの講演をエスペラントで要約したものを次のとおり掲載します。詳細のものは本人から別記記載します。(横山)

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/sahxaleno/sahxaleno.htm>

Resumo de la prelego de s-ro Hoŝida (En la 15-a de agosto en Jufno-Saĥalinsk, Saĥaleno)

Esperanto, lingvo internacia, proponita de varsovia okulisto L. L. Zamenhof en 1887 unue disvastiĝis tra la Rusa Imperio.

La unuan japan-lingvan lernolibron eldonis verkisto FUTABATEI Ŝimej laŭ originala ruslingva libro, kiun li ricevis de esperantisto en Vladivostok.

Zamenhof havis idealon, ke per Esperanto la homaro faros unu grandan rondon familian.

Esperanto estas la lingvo por amikeco trans limoj!

Por ni hokkajdanoj Saĥaleno estas najbara alilando kaj la plej proksima parto de Eŭropo. Tamen pro amara historio de milito kaj politikaj ĝenaĵoj ankoraŭ restas abismo inter niaj najbaraj insuloj, bedaŭrinde.

Ĉu vi iam aŭdis la nomon Esperanto, lingvo internacia proponita de varsovia okulisto L. L. Zamenhof en 1887? Ĉar tiam Varsovio estis parto de Rusa Imperio, Tiu lingvo unue disvastiĝis tra la vasta Rusa Imperio. La unua Esperanto-societo en Azio estis ne en Tokio, nek Pekino sed en Vladivostoko, 1891.

Esperanto venis al Japanio per kelkaj vojoj. La unuan japan-lingvan lernolibron eldonis verkisto FUTABATEI Ŝimej (HASEGAŬA Tacunosuke) laŭ originala ruslingva libro, kiun li ricevis de esperantisto en Vladivostok.

Zamenhof, la iniciatinto de la lingvo, havis idealon: Per tiu neŭtrala lingvo (Esperanto), komprenante unu la alian, la popoloj faros en konsento unu grandan rondon familian.

Sed kelkaj politikistoj(diktatoroj) konsideris tion danĝera por si kaj subpremis Esp-an movadon. Hitler, Stalin, kaj japana sekreta polico ĝis 1945...

Estas vero, ke oni multe uzas la anglan lingvon en internacia sfero, ĉefe en komercaj aferoj. Nia lingvo Esperanto estas unue la lingvo por amikeco trans limoj!

Esperanto, la lingvo por amikeco

友情のことば、エスペラント

(2016.08.15 ユジノサハリンスクでの講演)

星田淳

(Noto de la redaktanto) : Tio estas manuskripto por prelego de HOŝIDA Acuŝi, okazinta vespere de 2016.08.15 en Juĵno-Saĥalinsk. HOŝIDA parolis japane, akompanate de ruslingva interpreto de KAŬABATA, samkaravanano.

北海道民にとって、サハリンはすぐ隣の外国であり、ある意味日本に一番近いヨーロッパです。また北海道では失われつつある大自然が陸に海に素晴らしく残されている楽園であり、同時に天然ガスを豊富に埋蔵するエネルギー基地です。ところが、過去の戦争、政治的な壁、言語の壁、文化的相違などで、多くの北海道民にとってその近さにもかかわらず、サハリンは謎の大地となっています。

たとえばチェーホフは多くの日本人がその名を知り、少なくない人がその著書を読んでいるにもかかわらず、彼が19世紀にサハリンに滞在し、大部の著書「サハリン島」を著していることはほとんど知られていないのです。逆に、サハリンの人々は日本の有名な詩人宮沢賢治が1923年に北海道を經由してサハリンを旅行し、後に「銀河鉄道の夜」という幻想的な作品にしたことをご存じないことと思います。

みなさんは 国際語エスペラントについて聞いたことはありますか。
エスペラント語について聞いたことのある方、ご存知の方は手を挙げてくださ
い。 どんなことを聞きましたか。 ———

外国語を学ばば 外国人と話せるようになる、と置いていいでしょうか。その言葉を母語にしている人と同じように話すには 大変な努力が必要ですね。母語を話す人は特別の努力は必要ない。初めから立場は平等ではありませんね。

自分のことばの他に 外国人と話し合える 学びやすく使いやすい国際共通語があったらいいな、と考える人は沢山いました。多くの国際語案が発表されましたが発表後百年以上たっても 使われているのは エスペラント語だけです。ヨーロッパのことばの共通の要素を整理して文法を簡単にしてあるのでラテン系の要素が半分ほど、あとはゲルマン系、スラブ系などです。

このことばは1887年、ワルシャワに住んでいた眼科医 ザメンホフによって「エスペラント博士」という匿名で発表されました。当時ワルシャワはロシア帝国の領土でしたから このことばを発表する最初の本(第一書)はロシア語で書かれ、それに続いてほかのことばでも発表されました。

当然ながらこのことばは まず広大なロシア帝国のなかに広まりました。アジアで最初のエスペラント会ができたのはは東京でも北京でもなく1891年のロシア極東、ウラジオストクでした。

エスペラントはその後いくつかの道を通って日本に入ってくるが最初の日本語の学習書が出たのは1906年。これはロシア文学者二葉亭四迷(長谷川辰之助)がウラジオストクを訪れた時そこのエスペラント会の指導者Fjodor Postnikov から受け取ったロシア語の学習書を訳したものです。

ザメンホフはこのことばを発表したとき「国や民族の壁を越えて世界の人々が人間対人間として理解し合い 人類を一つの家族に したい」という理想を持っていました。しかしこのような民衆(市民)同士の交流に警戒の目を向ける権力者・独裁者は 世界のあちこちに いたのです。

ナチス・ドイツのヒトラーは「エスペラントはユダヤ人による世界支配の道具だ」と主張、「非ドイツ的活動だ」としてエスペラント団体を解散させました。

世界で初めてエスペラントの切手を出したのは1925年のソ連でしたからエスペラントについては理解があると見たのですが スターリンの独裁体制になるとNKVD(秘密警察)の監視リストに「エスペランチスト」も入ることになります。

1937年の「大粛清」でソ連エスペラント同盟の活動家も多くは逮捕されて強制収容所に送られ 活動は事実上停止します。
禁止や解散命令は 全くなかったにもかかわらず。

日本では1925年制定の治安維持法によって共産主義者への弾圧が始まるがやがて監視対象は あらゆる反体制的・非日本的(キリスト教会も)活動に広げられ エスペラントによる海外との文通も警察に報告を求められる状態でした。2次大戦に入ると 国際交流が主な活動であるエスペラント運動はもう何もできなくなりますね。事実上停止状態でした。

1945年、2次大戦終了。日本・ドイツ・イタリアではファシズム政権が崩壊。日本ではその年のうちに運動再開。平和とともに世界でエスペラント運動は再生しました。

しかしソ連や東ヨーロッパにできた社会主義国ではスターリン体制による弾圧がしばらく続きますが この地域のエスペラント運動はスターリンの死(1953)後数年で復活します。

結局、エスペラントを弾圧してきた権力は、遅かれ早かれ倒れていったわけです。

ソ連邦最後の時代、ロシアでエスペラントへの偏見がまだ強い頃、ウラジオストクで二人の若者が長い沈黙の後にエスペラントクラブを再建しました。

しかし長年エスペラントが国家権力に敵視されていた記憶はしばらく残っていたようです。クラブに「警告」が寄せられました。「エスペラントは反ソ勢力がスパイ行為のために使っている、そんな活動は危険だ、やめた方がよい ……」

当時の若者の一人、のちのロシア国立極東大学の教授となったセルゲイ・アニケーエフさんが このことを話してくれました。彼は北海道の同大学函館校の副校長を務め、退職しました。長く私たちの愉快的な友人でした。

もう一人は、国立ロシア極東工業大学の教授になったアレクサンドル・チターエフ教授です。

彼は自分の大学でエスペラント語の講座を持ち、毎年100名の学生たちにエスペラントを教えていました。また、彼は週に一回夜学で中年の女性たちにエ

スペラントを教えていました。彼女たちの幾人かは中国や韓国や日本のエスペラント大会に参加し、彼女たちにとって普通では得られない体験をしました。

私たちは、2年に1回開かれる国立極東ロシア工業大学の国際学会に何度も参加しました。学会の公式言語はロシア語・英語にくわえてエスペラントも採用されていました。エスペラントで言語学についての発表会を行いました。学会の後、私たちは現地のエスペランチストの手配と案内で、ダーチャで誕生会をしたり、先住民の村を訪問したり、要塞の廃墟を訪ねたり、2日ばかりで山に登ったりしました。残念ながら、チターエフ教授は4年前に亡くなり、今は電気技師のゲンナジー・シレプチェンコ氏がウラジオストック・エスペラント・クラブを引き継いで指導しており、中国や韓国のエスペラント大会に会員を連れて参加しています。

第二次世界大戦が終わって70年が過ぎましたが まだ世界のあちこちで紛争が続いています。ザメンホフが夢見た「お互いの理解で築く人類の大家族」はまだ実現していません。

しかし …… 毎年世界のどこかで開かれる世界エスペラント大会の場ではことば、宗教などの違う多くの人たちが集まって 一つのことば(エスペラント語)で話し合い、そこでは「人類の大家族」が実現しているように見えます。こんな状態をどうしたらもっと広げることができるか、わたしたちは 考えたいと思います。

日本では、多くの人が国際交流は英語で行うものと思っています。でも、もし私たちが英語を使ってウラジオストックを訪問したとしたら、これほど多くの友人を持たたでしょうか。これほど多くの経験をえたでしょうか。今回の訪問団の事務局長をしている宮沢氏は、札幌の自宅を旅行するエスペランチストに無料で開放しています。英語である程度仲良くなることはできます。でもいきなり宿泊はできませんね。

日本では、英語はビジネスのための言語であり、出世のための言語です。エスペラントは友情のための言語です。

2017年、来年の7月、韓国のソウルでエスペラントの世界大会があります。私たちは中国、韓国、ベトナム、東ヨーロッパ、西ヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカ、もしかしたらアフリカの仲間とも出会うことができるかもしれません。もし、サハリンにエスペラントクラブが結成されて、代表を韓国に派遣できるなら、北海道経由で世界大会に参加できるよう、私たちが支援したいと考えています。そのときはぜひ北海道で講演をしてほしく思います。サハリンと北海道を兄弟の関係にするため、微力ながら両島のエスペランティストの協力を作っていきましょう。

最後に今までの話の要旨(一部)をエスペラントで述べたいと思います。エスペラントという言葉のひびきをきいてください。

Esperanto, lingvo internacia, proponita de varsovia okulisto L. L. Zamenhof en 1887, unue disvastiĝis tra la Rusa Imperio.

La unuan japan-lingvan lernolibron eldonis FUTABATEJ Ŝimej laŭ originala ruslingva libro, kiun li ricevis de esperantisto en Vladivostok. Zamenhof havis idealon, ke per Esperanto la homaro faros unu grandan rondon familian.

Esperanto estas la lingvo por amikeco trans limoj!

という感じです。では皆さん、質問ありますか？

質問はあとでメールで問い合わせしてくださっても構いません。メールアドレスは みなさんにお渡ししたチラシに出ています。

本日は、ありがとうございました。

引き続きエスペラント語初歩の簡単な講習「エスペラント語ABC」を行います。

(講習は 西端克俊によって行われた)

L・PLAZA FESTO 2016 エルプラまつり 2016 報告 後藤純子

La 10-kan de septembro okazis L-PLAZA FESTO 2016, kie 89 grupoj de civitanoj propagandis kaj elmontris pri siaj agadoj.

Ankaŭ HEL-anoj klopodis inviti vizitantojn al nia ĉambro, disdonante 200 flugfoliojn, kaj klarigi pri nia lingvo. Laŭ la raporto, tiu festo havis 8.7mil vizitintojn.

(展示物)

- エスペラント出版物多数、コーランも有り。持ち帰り用の JEI や UEA の機関誌も。
- 学習用の大きなパネル「エスペラントってどんなことば？」6枚を掲示用スタンドに。(このパネルで横山さんが各来場者にミニ講習を実施。)
- エスペ란チスト交流宣伝訪問団のサハリンでの活動報告と今夏の UK (スロバキア) の報告を壁面いっぱい。(サハリンでの活動は星田さんが来場者に体験談を話されていた。)

(来場者) 計15人(人数は少なかったが、全員がじっくりと展示物を見て下さり、質問も多かった。)

(スタッフ) 星田、後藤義、白濱、横山、阿部、大友、宮沢、覚知、波田地、後藤純 計10人

(感想) 今年も部屋運が悪く、土足禁止の部屋で気軽に中迄入りにくい部屋だった。しかし、入って来た人は、始めから興味を持って来ている感じで、質問も多く、時間をかけて展示物も読んでいた。内2人は、横山さんの説明を聞いて講習会に来てくれる、とのこと、確かな手応えを感じた。

チラシは、既存のカラーチラシを処分するべく200枚に道大会の公開講演会の案内を折り込んで配った。きっと、後藤義治さんのきれいな油絵の表紙が目についたのだろう。例年になく、受け取ってくれる人が多かった。チラシ1枚でも工夫が要るもんだなあ～と実感した。

星田さんへの『人民の敵』のインタビュー記事について(5)
Intervjuo de HEL-eksprezidanto HOŠIDA Acuŝi en la gazeto
"Jinmin no teki" (5)

横山裕之

Daŭrigo: 前号より続く

M しかし UEA (ウー・エー・アー。世界エスペラント協会) の大会運営には、非常に政治的なものを感じますよ。ノーベル平和賞って政治的でしょ？ それと同じようなニュアンスで『政治的』だと感じる。大会の開催地にしても、アジアではまだ開催が少ないから今度はここでやろうとか、もっと典型的なのは、まだアメリカと国交がなかったキューバで……。

星田 2回もやっていますよ。

M うん、わざとやるんだ(笑)。で、会場で世界中から集まった3千人ぐらいで宴会をやっているところにカストロが現れるという、胸にグッとくるような演出があったりする(笑)。それはかなり政治的にやっていることだし、そういうところはうらやましいと思う。逆に SAT の大会の方はそうではないんじゃないかと思うんですよ。

星田 そっちには行ったことがない。

M ぼくも行ったことはないんです。ただ、「SAT の大会をメキシコのサパティスタの解放区でやりましょうよ」って手紙を1度、SAT の本部に書き送ったことがあるんだ。「この提案を機関誌にも載せてくれ」と付け加えたんだけど、ボツになった(笑)。しかし「労働者階級の解放のためにエスペラントを使う」と云ってるんだから……。

星田 それが SAT の綱領だもんね。

外山 メンバーの平均値としては、サパティスタにシンパシーを持ってはいるんじゃないですか？

M そうだと思う。だけどたぶん物理的に無理なんだろうね。仮にサパティスタの解放区で開催したとしても、10人か20人しか集まらなかったのでは「大会」にならない。そもそも SAT の大会はヨーロッパの外で開催されたことがないんだ。

外山 そっちはどれぐらいの人数が集まるんですか？

M 3百人から5百人。まあサパティスタの解放区で開催することも絶対に不可能ということもないはずなんだけど。本来ならやっぱり、現におこなわれている闘争の現場とか、過去の闘争にちなんだ場所とか、そういうところで開催する方がいいんだ。

外山 ヨーロッパからしばらく出ないとしても、いくらでもそういう場所はあるでしょうからね。

M ぼくも SAT の機関誌をしっかり読んでるわけでもないから、もしかしたらそれなりにやっているかもしれないけど、少なくとも UEA の方はそういうことをやってる。

星田 UEA はいわゆる中立的なエスペラント団体と見られてるけど、やってる内容を見ていけば決して没政治的ではない。充分いろいろ考える。今年の大会で印象的だったのは、黒人がかなり多いことで、アフリカから来てる人も結構いた。そもそもフランスに黒人はたくさんいるんだけどね。かつてはアフリカに植民地を持っておって、それらが独立した時も旧宗主国であるフランスへの移住につい

ては優先的に認められるようにしたから、結果としてフランスの現在のイスラム人口も3%ぐらいになってたりする。それで近年はいろいろ難しい問題も生じておるようだが、ともかくアフリカから来たエスペ란チストたちは、いつかアフリカでも世界大会をやりたいと云っておったね。

M 北海道大会だってそんなふうに政治的にやれば良いと思ってたんですよ。

星田 サハリンかウラジオストクか、向こうの人たちと共同で何か開催できればいいな、とは私も思う。

M 大会の開催地にしても政治的な意味を持たせて、それについてある程度は全体で共有することができれば、普通の会議だって面白くなるんじゃないかと思うんですけどね。

外山 ……北大以外の北海道の大学にも拡げていく手段はないんですか？

星田 昔は教育大にもグループが存在した時期はある。

M 印象では、学内の管理が強くなってるので、それでもピラを貼ってそれをうまく生き残らせる方法を確立すれば十分に獲得の可能性はあると思う。大学の数だけは札幌はやたら多いんだ。道内各地から札幌に初めて出てきて、アパート暮らしをしながらコソコソ大学に通ってる奴はたくさんいるはずなんで、札幌にずっと住んでる奴らよりずっと「狙い目」ではある(笑)。

外山 教育大ってかなり田舎の方にあるでしょ？ あの周辺のアパートに住んでる学生もいっぱいいるんじゃないですか？

M そうかもね。

外山 ピラを大量に刷ってポスティングすれば、学内の管理とは無関係に突破できるんじゃないかな。

星田 内容は講習会の案内とか、ごく基本的な情報ってこと？

M 「エスペラントを勉強してみませんか？」で、メールアドレスが載ってるだけのものでもいいんです。

外山 あるいは昔から学生運動ではよくやってたように、誰か理解のある先生を見つけて、その人の授業の最初の5分間ぐらいを借りて、エスペラントについて喋らせてもらってピラも配るとか。

M なるほどね。でも今の北大エスペラント研究会の速中にはそれをやる根性はないだろうな(笑)。昨夜もここに2人来てたけど、彼らは非常に真面目でしょ？ まだまだこれからだから。

外山 「これからに期待」の人たち？

M 彼らはこれから羽ばたくんだよ。まだヒナだ(笑)。……星田さんは今後、まあ何年間ぐらい残ってるのか知りませんが(笑)、一番やりたいことって何ですか？ まあ逆に「やりたくないこと」でもいいですが。

星田 まず自分のことで云うと、やりかけの仕事はたくさんあるので、総括・整理をしなければならんとは思ってる。どこまでやれるかは分からん。対外的なことでは、やはりエスペラント運動の現状は、エスペラントの本来の使命を果たせてるとはとても云えないんで、皆さんの知恵も借りて何とかできないものかと、それはさっきから何度も云ってることだ。

M これは失敗したなあ、と思うことは何ですか？

星田 失敗もいろいろあったとは思いますが……そのことをあまりクヨクヨと考えたりはしないな。失敗したら、「あー、しょうがない」って済ませてしまう。

M それが長生きの秘訣ですか？

外山 悩まない！(笑)

星田 そうかしららん。あまり引きずっても仕方ないしね。

外山 ……ところで小川君はエスペラントはまったくやってないの？

M 文法は全部終わった。

小川 ……。

外山 チュ・ヴィ・ポーヴァス・パローリ・エスペラントン？(笑)

小川 ミ・ネ・ポーヴァス。

M 会話としてちょっとおかしいな。相手が「エンペラントを話せますか？」ってエスペラントで訊いてきたのに、「いいえ、できません」とエスペラントで答えるのはおかしいだろう(笑)。そういう時は「イオメーテ」と云うんだ。

外山 英語の「リトル」かな？

M うん、「少しばかり」ってことだね。

外山 そういうふうに答えるのが、ほんとにエスペラントができなさそうな、“自然なエスペラント”なのか(笑)。

星田 ミ・パローラス・イオメーテ。

Mi parolas iomete.

山本 パロー……。

M 「パローリ」が「喋る、話す」だね。

山本 フランス語っぽい。

外山 動詞をイ行で、つまり i で終わらせると英語の to 不定詞、あるいは原形不定詞と同じことになる。「ポーヴァス」が英語の「キャン」で、語尾が as で終わっていると動詞でも助動詞でも現在形。つまり「ポーヴァス・パローリ」で「キャン・スピーク」だね。

山本 なるほど。

星田 ……さて、それではザメンホフ祭のあたりで何か上映会を計画するか？ とりあえず計画だけ建ててみて、実現すれば結構というぐらいの気持ちで。

M 星田さんは実学派だから、すぐ実行可能なことを考え始めるんだ。

星田 そりゃあ実行可能なことを考えないと……。

外山 夢みたいな話はどうでもいい！(笑)

M すぐ回路設計を始めちゃう(笑)。……じゃあそろそろ星田さん、最後に何か言い遺して置きたいことは？(笑)

星田 ん？ じゃあ、「チーウイ・ファルトゥ・ポーネ。カイ・ヴィーグレ・エストゥ・ヴィーグライ・エン・エスペラント！」

Ĉiuj fartu bone kaj vigle, estu viglaj en Esperanto!

とでも云っておくか。

M えーと……皆さん、健康に気をつけてお過ごしください。そしてエスペラント運動を活発に展開してください。はい、じゃあ星田さん、どうもありがとうございました。ご苦労様でした。

山本 わーい！(拍手)

——Fino (完) ——

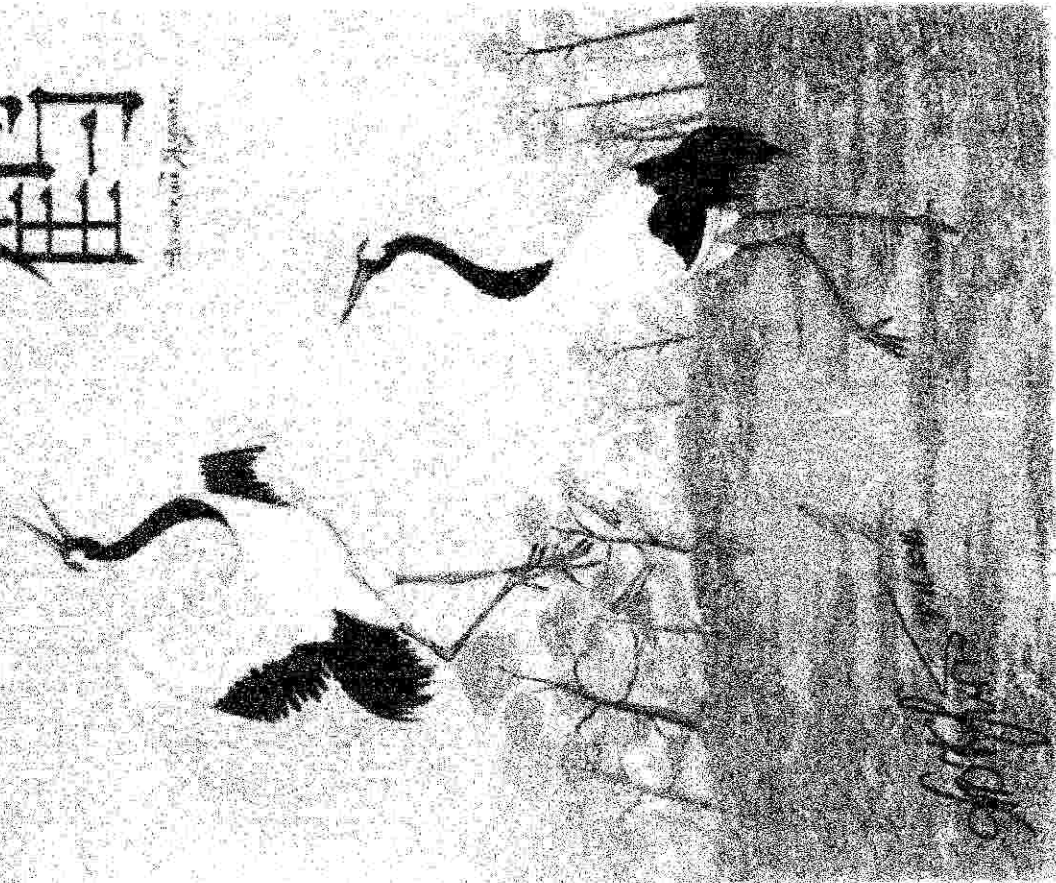
鶴

Shirocrana japonica

Japana gruo

En Japanio la gruo estas simbolo de longviveco.

Indiĝena gento ajnuoj en Hokkajdo nomis la grumon "Dio de marĉejo".



Nesting Environments

1999 2000 2001 2002 2003

Preskaŭ malaperintaj
en 20-aj jaroj de
pasinta jarcento, nun,
dank'al prizorgo de
japana registaro, la
gruoj en komfortaj
kondiĉoj vivas en
Kusiro/Nemuro
(orienta parto de
Hokkajdo) kaj havas
populacion, kiu
enhavas ĉirkaŭ 1000
birdojn.

Danke ricevitaj (星田淳敏、読みたい方はご連絡ください)

* Ponteto(Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo) Julio 2016, n-ro 277: B5x16 頁のうち E. 文 6 ページ半は第 65 回関東 E 大会(6 月)の来賓(フィリピンからの S-ro Alberto Garrido)の講演と“NOB LULO NE KREAS(君子不作)/SAS AKI Teruhiko”。各々その国の伝統と現状理解に役立つ文だ。フィリピンには大人の E 運動がなく学生(青年)の運動だけ、という。お互いに学び、助け合えるといいな、と思う。

* La Movado:関西エスペラント連盟(KLEG)発行、N-ro786 aŭgusto 2016, B5x20 頁のうち E. 文 3 頁。巻頭記事は第 64 回関西 E 大会(6 月、堺市)。「画期的な公開番組」は日中友好協会大阪府連合会と劇団の協力で実現した朗読劇「戦時下反戦放送・エスperanチスト長谷川テルの生涯と遺児暁子」、観客 250 人を集めた。ほかに二つの大会記事。九州大会は第 90 回、5 月末大宰府で 61 名(うち不在参加 16 名)。講演(報告)は「中学校での E 語授業」、「熊本大地震」など。第 65 回東海 E 大会(6 月、名古屋)は 20 名参加。番組企画担当者(竹崎睦子さん)の開会前夜の不慮の死のため予定の一部変更があった。対訳“Uraŝima Taraŭ: Trad, belmonto/浦島太郎(御伽草子集より)”が連載開始。

* Mejŝtono 2016 julio, n-ro 256, 仙仙台エスペラント会, B5X12 頁のうち E 文 3 頁は“La Rakonto, Kial Sur La Luno Loĝas Leporo/OOK OŜI Keji”。Novaĵo 欄に「東北大でエスペラントサークル結成」。第 57 回東北 E 大会(10 月、秋保温泉)の朗読コンクール課題文同封。

* 受講生通信;第 167 号、2016-8-01,沼津エスペラント会、B5X14 頁の

うちエスペラント文 1 頁弱。北海道から 2 人の受講生(初級と中級)の進歩が目を引く。初夏合宿の報告も寄せられている。第 8 回アジア E 大会(11 月、中国)の案内同封。

* LA VERDA TERO:ORGANO DE NORD-ORIENTA ESPERANTO-LIGO N-ro 64, julio 2016,A4X16 頁のうち E 文 1 頁は東北 E 大会朗読コンクール課題文。第 57 回東北 E 大会(10 月、秋保温泉)案内、昨年の 102 回日本大会(仙台)の Gasto, Reza Pahlevi(インドネシア)の東北地方会訪問記、各地方会活動報告、第 1 回(1956)以来の東北大会一覧。

* La Movado:関西エスペラント連盟(KLEG)発行、N-ro787,septembro 2016:B5x16 頁のうち E. 文 4 頁弱。巻頭記事:“Homaranismo de L.L. Zamenhof kaj Socia Intereso de Alfred Adler(ザメンホフの人類人主義とアドラーの共同体感覚)/KOGO Chiharu”, 日本語要約つき。Kajero Libervola “Historia Tago/HIRO-TAKA Masaaki” は 7 月 10 日の参議院選挙が「戦争国家への道を開いた歴史的な日になるかも」と危惧する。「京都エスペラント会の FM ラジオ番組/相川節子」は地域 FM 放送の活用例。本についての記事は「関西エスペラント連盟 65 年史」と「考えるエスペラント文法」について。“Ekirinte al Bembaŝa”の訳者で食文化研究家の磯部晶策さんの計報。

* Septembra SFERILLO SFERO(San Francisco Esperanto Regional Organization)の機関誌(電子受信) 2016 年 09 月号。用語はエスペラントと英語。9 月 10 日の第 510 回月例会の予告。7 月

の第 509 回月例会の報告。
KLASOJ としては STANFORD
(大学)に一か所、
CLUB MEETINGS(地方会)は
Sacramento, San Francisco,
Centra Oficejo(Emeryville, CA)の
3 か所がある。

*NOVA VOJO :N-ro 531aŭgusto
2016, EPA(エスペラント普及会)、A5
X34 頁のうち E.文 10 頁弱。対訳で
連載中の「大本物語」(原文ローマ
ン・ドブジンスキー、和訳 矢野裕
巳)は第 19 章、1959 年から 2012
年までの国内国外の大本の活動。

“Raporto pri la 101-a Universala
Kongreso de Esperanto--/木村
且哉” は第 101 回世界大会の報告
が 2 頁。なお裏表紙にカラー写真入
り大会記事(E 文)が 1 頁。

*La Informilo de Nagoja Esper-
anto-Centro/センター通信 281, 18
aŭg., 2016:名古屋エスペラントセン
ター発行、B5X8 頁、E 文なし。巻頭記
事は「磯部晶作さん逝く/IKAI Yosi-
kazu」。スペインのフランケーサ夫妻
を迎えたときの記事と故人の写真。
次の二つの記事は竹崎睦子さんの
訃報と思ひ出の文。彼女はいつも主
張をハッキリ出し、行動していたから
「わかりやすい人」だったが近くでい
つもぶつかる人にとっては 付き合い
にくかったろう、ほめる言葉はない。
“「エスペラント運動を考える - La
Movado 誌から」を読んで/山田義”
はこのような論文集の意義を強調
している。

*Novaĵoj Tamtamas; n-ro 318/
septembro 2016, Internacia Gaz
eto de Esperanto jokohama(Ham
a-Rondo),A4X4 頁、エスペラント文。

Nitro の世界大会、神奈川県民会
館での展示(1 年生の国語教科書)
など。Eseo 欄は Vojaĝo en Francio
en 2015/Aida Kiyoshi は昨年
の世界大会前後のフランス旅行。

*La Tamtamo; 第 490 号、2016 年
9 月号、NPO 法人エスペラントよこは
ま会報。A4X8 頁、日本文。

行事案内、報告など Novaĵoj Tamt
amas と共通のものも。連載中の
「エスペラントの大先輩/牧野三男」
はこの号の第 5 回目 渡邊輝さん
で終わる。

*Mejstono 2016 septembro,
n-ro 257,仙仙台エスペラント会、B
5X10 頁のうち E 文 2 頁 2 件。1 件は
第 57 回東北 E 大会(10 月、仙台)
に参加予定の Jon さんの手紙、もう
一つは 101-a UK(Nitro/Slovakio)
の報告/SAITO Tume.広報行事とし
て「せんだい地球フェスタ 2016」に
パネル出展、広報イベント「ようこそ、
エスペラントへ」開催、が計画されて
いる。「仙台 E 会のホームページ」の
解説が 2 頁。

*La Movado:関西エスペラント連盟
(KLEG)発行、N-ro788, oktobro
2016, B5x16 頁のうち E.文 4 頁弱。
巻頭記事は「第 101 回世界 E 大会
ニトラ市街を楽しく初のデモ行進/北
川昭二」。Kajero Libervola:Forpa-
sis Kresko, Alvenis Divido/Kelo-
nio は経済格差拡大について。“La
89-a SAT-Kongreso en Herzberg
/HUGIMOTO Hideko” このまちは
別名“La Esperanto-urbo”。書評:
Idojde la Imperio-La rusoj en
Baltio は Homoj de Putin, Krimeo
Estas nia につづく Kalle Kniivilä
の第 3 作。

Protokolo de la 5-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2016 2016年度 第5回北海道エスぺラント連盟委員会 議事録

日時：2016年7月17日（日） 13:00～15:20

場所：札幌エルプラザ2階 会議コーナー12名用

出席者：横山（司会）、後藤（純）、阿部、山下、星田、川合（記録）

（欠席：後藤（義））

（オブザーバー参加：加藤智彦、覚知頌春）

【組織】

・新規加入者：なし。

・退会者：なし。

※現在会員数：42名

【財政】

・会費収入は順調（阿部）。

・予算は計画通りに執行されている（阿部）。

・初夏合宿の経費が一部未精算であるが、大きな問題はなさそう（阿部）。

・機関誌の発送料を、「Kメール便」（→後出）を利用することで低減させたい（阿部）。

【広報】

・HP：アクセス数74 468件（2ヶ月前比+390）になった。サハリン旅団の件を掲載したためにアクセスが増えたのでは（横山）。

・HPには札幌E会、苫小牧E会についてのページもある。北大E研にもHPがあるならばリンクを張りたい（横山）。

←検討したい（覚知）。

・メールマガジン：初夏合宿前の6月15日に第169号、412部を発行した（横山）。

【情報・宣伝】

・初夏合宿の案内の掲載を4月中に「北海道新聞」「朝日新聞」に依頼したが、掲載はされなかった（川合）。

・エルプラまつり（→後出）での配布用パンフは、在庫（A4三つ折り、後藤（義）委員制作）が多数あったので、それを利用する（後藤（純））。

【教育・研究】

- ・札幌E会：土曜例会では『Homoj de Putin』を読了し、平井征夫著『Hiapana, Kataluna, Mangada…』に入った(後藤(純))。月曜例会では『日本文化を理解する77の鍵』を1回1章ずつのペースで読んでいる(山下)。
- ・苫小牧E会：『Kredu min, sinjorino!』を引き続き読んでいる(星田)。
- ・北大E研究会：阪直著『E入門』をテキストとして初心者进行指導している。新人はぼつぼつと加入してくる(加藤)。
- ・JEI学力検定試験の受験希望者が3~4名いる(北海道大会時)。横山委員長・後藤(純)研究教育担当委員で準備する。暫定の会場の確保は、10月22日(土)午前中、と考えている(後藤(純))。

【機関誌】

- ・7月14日、「Heroldo de HEL」第166号(20頁)、90部印刷・発行(星田)。
- ・次号は次回委員会時発行。

【年間計画】

【初夏合宿反省】

- ・会話クラス、子供クラスの新設は成功だったと思う(後藤(純))。
- ・ロコミによる勧誘の力は大きい(後藤(純))。
- ・ロコミだけで20人集める事ができる—ということが判ったが、新聞に案内が出たらもっと効果が期待できる(星田)。
- ・入門者(一般参加者)のための継続的なE学習の案内(札幌E会の例会の日時、など)は、事前に簡単な文書にして用意しておくことよと思った(川合、山下)。
- ・会話クラス、中級クラスとも楽しかった(覚知)。

【北海道大会】

- ・連盟総会の議案書は、原稿を8月31日までに川合事務局長宛てに提出。
- ・堀泰雄氏(群馬県前橋市)の講演テーマは、「東日本大震災とEとの関わり(堀氏の活動報告)」で願います。連絡は横山委員長から。ほかに世界の楽器の演奏や「冷え取り健康法」のお話もお願いできれば、する。
- ・堀氏の講師謝礼は、10 000円とする。交通費・宿泊費はご本人にきいて実費を支払う(阿部委員担当)。
- ・一般向け公開番組(講演)のピラは、堀氏の講演内容が固まり次第、川合事務局長が作成する。エルプラまつりで配布できるとよい。印刷は委員会以外に時間をとつ

てする必要がある。

【エルプラまつり2016】(9月10日(土))

・事前ミーティング(7月20日)には後藤(純)委員が参加する。

【社会活動】

・サハリン旅団のクラウドファンディング(インターネット上での募金)は、目標額を超えた。8月10日新千歳出発、8月17日帰国、参加者14名を予定している(横山)。

【雑件】

・「クロネコメール便」の後継サービス・「クロネコDM便」は、HELが団体としての要件を満たしていないため利用できない。代わりに「Kメール便」(MDS株式会社、札幌)が使えることを後藤(義)委員が確認した。機関誌の送料は札幌市内70円、札幌市外全国80円。次の機関誌の発送から利用することにする。

【次回委員会】

2016年9月25日(日)13時より。場所はエルプラザ内、部屋は未定(阿部委員予約)。同日10時より機関誌・連盟総会議案書の印刷を行う。

【編集後記 / Redaktanto parolas】(この部分プリントのインク切れ、手書き)

* サハリン訪問団、14名の参加で8月実行。予想外の成果。報告をお読みください。

* 「人民の聲」インタビュー5回で終わりました。「放送」おゆるしください。

* 鶴「Japano grupo」は7月ウラジオストクで開かれたsemanioのため星田が送正資料と報告をウラジオ側で編集したもの。全体で21頁のうち最初の部分です。

北海道エスペラント連盟 会費/年	
正会員	3000円、青年会員(26歳未満) 1500円、
購読会員	2000円、家族会員、失業者など割引 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO	北海道エスペラント連盟
*Redaktas la Organo Fako de HEL	*編集: 連盟機関誌部
c'e HOSIDA Acusi	〒053-0844 苫小牧市
Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI	宮の森町2丁目18-18
053-0844 JAPANIO	星田 淳 方
TEL-FAKS: 0144-74-2539	Retadreso: hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp
*Sekretario: KAWAI Yuka	*事務局: 川合由香
N-ro 100, Simin-Katudo-Sapoto-Senta	〒060-0808 札幌市北区
Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3	北8条西3丁目札幌エルプラザ
Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio	市民活動サポートセンター レターケースNo.100
TEL-FAKS: 0126-35-7153	
Retadreso: kunespere@olive.plala.or.jp	
*TTT-ejo : http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm	
*Postgirkonto (郵便振替) : 02700-6-17075	